

統合開発環境 e2 studio V4.2.0.012 ご使用上のお願い

統合開発環境 e2 studioをV4.2.0.012の使用上の注意事項を連絡します。

1. カバレッジ機能使用時の注意事項
2. パフォーマンス機能使用時の注意事項

1. カバレッジ機能使用時の注意事項

1.1 該当製品

e2 studio V4.1.0.018 ~ V4.2.0.012

1.2 内容

- (1) 以下の組み合わせでe2 studioを使用した場合、カバレッジ結果が表示されない場合があります。
 - RXファミリのRX64MまたはRX71MグループとE20エミュレータ
- (2) 以下のいずれかの組み合わせでe2 studioを使用した場合、カバレッジ情報の取得中を示す進捗ダイアログが表示された状態のまま、他の操作ができなくなる場合があります。
 - RXファミリのRX64MまたはRX71MグループとE20エミュレータ
 - RL78ファミリとIECUBE

1.3 発生条件

(1) 1.2(1)の発生条件

デバッグを開始した後にカバレッジアドレス範囲を有効にしてカバレッジを計測した場合に発生します。

(2) 1.2(2)の発生条件

カバレッジ測定対象のソースファイルを"使用可能"の状態デバッグを開始してカバレッジ計測を行った場合に発生します。

1.4 回避策

以下の手順で1.2 (1)および(2) の不具合を回避することができます。

a. RXファミリのRX64MまたはRX71MグループとE20エミュレータの組み合わせの場合

- (1) デバッグを開始しプログラムをダウンロード
- (2) カバレッジアドレス範囲を設定
- (3) カバレッジ測定対象のソースファイルをすべて"使用不可"に設定
- (4) デバッグビューのリセットボタンを押下
- (5) カバレッジ測定対象のソースファイルを"使用可能"に変更
- (6) プログラムを実行

b. RL78ファミリとIECUBEの組み合わせの場合

- (1) デバッグを開始しプログラムをダウンロード
- (2) カバレッジ測定対象のソースファイルをすべて"使用不可"に設定
- (3) カバレッジ測定対象のソースファイルを"使用可能"に変更
- (4) プログラムを実行

1.5 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

2. パフォーマンス機能使用時の注意事項

2.1 該当製品

e2 studio V4.1.0.018 ~ V4.2.0.012

2.2 内容

パフォーマンス機能において、タイマー"開始"および"終了"イベントが設定されていてもタイマー"開始"から"終了"イベントの間ではなく実行区間全体の結果が表示されてしまう場合があります。

2.3 発生条件

以下の組み合わせでe2 studioを使用した場合に発生します。
RXファミリとE1またはE20エミュレータ

2.4 回避策

ありません。

2.5 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.